

課目名	衛生管理 I						
課目名(英)	Hygiene management1						
課目単位数	1単位		時間数	30時間		担当者	竹原直道・相良献・星野行孝
実施年度	2021年度		実施時期	前期		実務家教員 担当科目	大学院にて研究する傍ら、歯科医師として 訪問診療等の歯科業務に従事。
対象学科・学年	美容科 1年生						
授業概要	美容業界を目指す専門生として実社会における衛生知識の向上と啓発を図ることを目的とする。 学習意欲を高め規律ある授業態度の確立を行うと共に美容師として必要な公衆衛生、環境衛生に関する基礎 を習得させ国家試験合格を目指す。						
授業形式	講義:	○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					衛生に関する歴史上の人物と業績について3人以上説明する事ができる。	
	○					保健所の役割と美容室への関係性についての説明ができる。	
	○					母子・高齢者・精神保健についての説明ができる。	
	○					環境衛生と美容師の関わりについての説明ができる。	
テキスト・教材 参考図書	・日本理容美容教育センター 出版:衛生管理 ・日本理容美容教育センター出版:ワークブック						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	1編 1章 衛生管理の概要・・・公衆衛生の定義				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	2	1編 1章 衛生管理の概要・・・美容師と公衆衛生との関わり				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	3	2章保健・・・保健所の機能と事業				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	4	2章保健・・・美容師と公衆衛生との関わり				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	5	2章保健・・・保健についての基礎知識				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	6	2編保健・・・老人の保健と福祉□				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	7	1章 環境衛生・・・公衆衛生水準に関する指標				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	8	1章 環境衛生・・・人を取り巻く環境要因や環境				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	9	1章 環境衛生・・・環境に対する人の適応性				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	10	1章 環境衛生・・・健康的な環境をつくる目的				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	11	1章 環境衛生・・・自然環境要因の理解(空気)				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	12	1章 環境衛生・・・自然環境要因の理解(温熱、水)				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	13	公衆衛生復習問題・・・公衆衛生全般について				配布したプリント・教科の該当範囲を事前に読んでおく こと	
	14	環境衛生復習問題・・・環境「衛生」全般について				配布したプリント・教科の該当範囲を事前に読んでおく こと	
	15	期末試験 解答 解説 / 3篇 感染症				期末試験問題用紙を事前に確認していくこと	
評価方法	(1)授業の中で小テストを5回実施する。 (2)宿題・レポートを数回実施する。(3)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験		○				80%
	小テスト	○	○				10%
	宿題・レポート				○		10%

履修上の注意

毎回の授業でプリントを配布するためファイルに保管する。

課目名	保健Ⅰ						
課目名(英)	health cosmetology						
単位数	1単位	時間数	30時間	担当者	齊田 順子		
実施年度	2021年度	実施時期	前期	担当者実務経験	看護師として勤務・研修講師		
対象学科・学年	美容科1年生						
授業概要	人体の構造及び皮膚科学に関する知識が美容の仕事に、また個人の健康管理の意識を高める事にも活かされるように学習する。国家試験合格に必要な知識を習得し、美容師として顧客の健康状態にも配慮でき、社会貢献できるようになることを目指す。						
授業形式	講義：○	演習：	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					美容技術の基礎となる人体組織について学び、人体の構造と機能について説明ができる。	
		○				皮膚、毛髪などに関する科学的知識を理解し、美容の仕事に応用できる。	
	○					「人体の構造と機能」及び「皮膚科学」について口頭で質問した場合正確に説明ができる。	
				○		顧客や個人の心身の健康状態に配慮する事ができる。	
テキスト・教材 参考図書	・保健(公益社団法人 日本理容美容教育センター) ・ぜんぶわかる人体解剖図(成美堂出版) ・配布プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	1編1章 頭部、顔部、頸部の体表解剖学			教科書の該当範囲を読んでおく・プリントの整理		
	2	1編2章 骨格器系…骨の種類と構造、骨格器系とそのはたらき			教科書の該当範囲を読んでおく・プリントの整理		
	3	1編3章 筋系…種類と特徴、骨格筋、表情筋、筋疲労			教科書の該当範囲を読んでおく・プリントの整理		
	4	1編4章 神経系…神経系の成り立ち、中枢神経系、末梢神経系			教科書の該当範囲を読んでおく・プリントの整理		
	5	1編5章 感覚器系…視覚、聴覚、平衡感覚など			教科書の該当範囲を読んでおく・プリントの整理		
	6	1編6章 血液・循環器系…経路、心臓、リンパ管系の仕組み			教科書の該当範囲を読んでおく・プリントの整理		
	7	1編7章 呼吸器系…気道、ガス交換、呼吸運動			教科書の該当範囲を読んでおく・プリントの整理		
	8	1編8章 消化器系…仕組みとはたらき、代謝			教科書の該当範囲を読んでおく・プリントの整理		
	9	2編1章 皮膚の構造…表皮、真皮、皮下組織			教科書の該当範囲を読んでおく・プリントの整理		
	10	2編2章 皮膚付属器官の構造…毛、脂腺、汗腺、爪			教科書の該当範囲を読んでおく・プリントの整理		
	11	2編3章 皮膚の循環器系と神経系…皮膚の血管、リンパ管など			教科書の該当範囲を読んでおく・プリントの整理		
	12	2編4章 皮膚と皮膚付属器官の生理機能			教科書の該当範囲を読んでおく・プリントの整理		
	13	2編5章 皮膚と皮膚付属器官の保健			教科書の該当範囲を読んでおく・プリントの整理		
	14	2編6章 皮膚と皮膚付属器官の疾患			教科書の該当範囲を読んでおく・プリントの整理		
	15	期末テストに向けて			小テストや期末テスト対策のプリントを復習しておくこと		
評価方法	(1)授業の中で小テストを数回実施する。(2)宿題・レポートを1回実施する。(3)定期試験(筆記)を実施する。(4)授業態度(取り組む姿勢)。以上を下記の観点・割合で評価する。成績基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験		◎				80%
	小テスト	○	◎				10%
	宿題・レポート				◎		10%

履修上の注意	・毎講義においてプリントを配布するので必ずファイルに整理、保管すること。 ・出席が10回未満の場合は定期試験を受験できない。(補講終了の場合は除く)					

課目名	香粧品化学						
課目名(英)	Cosmetic Chemistry						
単位数	1単位	時間数	30時間	担当者	高橋 龍、中川 貴彦		
実施年度	2021年度	実施時期	前期	担当者実務経験	学習塾講師担当		
対象学科・学年	美容科 1年						
授業概要	香粧品(化粧品と医薬部外品)の化学成分がどのようなはたらきを持つのかを学習する。また、取り扱いに注意が必要な香粧品(たとえば「混ぜるな危険」と書いてあるものなど)がどのように危険なのかも学習する。						
授業形式	講義:	○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					香粧品の役割と作用や、作用先の皮膚・毛髪について、化学的に説明することができる。	
		○				香粧品の特性を知った上で、注意が必要な香粧品の使い方を説明することができる。	
				○		香粧品化学を学ぶ必要性を認識した上で、積極的に授業に参加することができる。	
テキスト・教材 参考図書	・香粧品科学 教科書 ・授業プリント(各回の授業最初に配布)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	香粧品概論ー香粧品化学が課せられている意義、授業計画、評価方法・基準				教科書の該当範囲を授業前・授業後に読むこと	
	2	香粧品原料ー香粧品の対象となる人体各部の性状				教科書の該当範囲を授業前・授業後に読むこと	
	3	水性原料ー水・エタノール				教科書の該当範囲を授業前・授業後に読むこと	
	4	油性原料ー油脂・ロウ類・炭化水素・その他の油性原料・油性原料の機能				教科書の該当範囲を授業前・授業後に読むこと	
	5	界面活性剤ー界面活性剤の基本的性質・界面活性剤の種類・界面活性剤の香粧品への応用				教科書の該当範囲を授業前・授業後に読むこと	
	6	高分子化合物ー高分子化合物の種類と特性・高分子化合物の香粧品への応用				教科書の該当範囲を授業前・授業後に読むこと	
	7	色材ー色材と香粧品・無機顔料・有機合成色素・光輝性顔料・天然色素				教科書の該当範囲を授業前・授業後に読むこと	
	8	香料ー香料と香粧品・香料の種類・調合香料				教科書の該当範囲を授業前・授業後に読むこと	
	9	配合成分ー香粧品原料の品質保持に用いられる配合成分 香粧品配合成分があたえる機能・その他の特殊成分				教科書の該当範囲を授業前・授業後に読むこと	
	10	基礎香粧品1ー皮膚洗浄用香粧品・化粧水				教科書の該当範囲を授業前・授業後に読むこと	
	11	基礎香粧品2ークリーム・乳液・その他の基礎化粧品				教科書の該当範囲を授業前・授業後に読むこと	
	12	毛髪用香粧品1ーシャンプー剤・スタイリング剤・パーマ剤・育毛剤				教科書の該当範囲を授業前・授業後に読むこと	
	13	毛髪用香粧品2ー染毛料・染毛剤・ヘアカラー製品				教科書の該当範囲を授業前・授業後に読むこと	
	14	香水・特殊香粧品ー芳香製品・特殊香粧品				教科書の該当範囲を授業前・授業後に読むこと	
	15	基礎化学ー物質の構成～タンパク質				教科書の該当範囲を授業前・授業後に読むこと	
評価方法	(1)定期試験(選択式・筆記試験)(2)小テスト(3)授業中の態度 の3つにより評価を行う。 (3)授業態度は、出席・提出物・授業中の居眠りの回数などで評価する 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				80%
	小テスト	○	○				10%
	授業態度				○		10%

履修上の注意	試験は授業内容からの出題となる。授業で配布するプリントが試験範囲そのものとなる。試験では国家試験を前提とし、語句などの知識問題、そして国家試験のように文章を読んで正誤を判断する問題などを多く扱う。					

課目名	文化論Ⅰ						
課目名(英)							
単位数	1単位		時間数	30時間		担当者	吉田 理恵子
実施年度	2021年度		実施時期	前期		担当者実務経験	美容文化論教員資格所得後文化論の授業を行う
対象学科・学年	美容科1年						
授業概要	国家試験に対する知識を深めるとともに、西洋ファッツション文化史を学ぶ。人の歴史の最古から、美容がかかわってきたことを学ぶことは、今を知るためにとても重要である。歴史の中で創り上げられてきた「美しさ」があり、現代のものと融合することで新しいスタイルを生み出すことが出来る。文化論の中にはデザイン発想する為のヒントや、創造の幅を広げるエッセンスが多く存在する。文化を知り学び、知識を得ることにより、お客様が求める美しさを的確に理解し、幅広いスタイル提供ができ、即戦力に繋が社会人に目指す。						
授業形式	講義：○		演習：	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					西洋ファッツション文化史における文化の流れを説明できる。	
	○					西洋ファッツション文化史における、それぞれの時代の髪型・メイクを説明できる。	
	○					理美容業界の歴史について説明できる。	
テキスト・教材 参考図書	日本理美容教育センター 文化論教科書						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	第1章 総論				教科書を使い、予習復習を行う。	
	2	第4章 ファッツション文化史(西洋編)・・・古代エジプト				教科書を使い、予習復習を行う。	
	3	第4章 ファッツション文化史(西洋編)・・・古代ギリシャ・ローマ				教科書を使い、予習復習を行う。	
	4	第4章 ファッツション文化史(西洋編)・・・古代ゲルマン				教科書を使い、予習復習を行う。	
	5	第4章 ファッツション文化史(西洋編)・・・中世ヨーロッパ				教科書を使い、予習復習を行う。	
	6	第4章 ファッツション文化史(西洋編)・・・近世Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ				教科書を使い、予習復習を行う。	
	7	第4章 ファッツション文化史(西洋編)・・・近代Ⅰ・Ⅱ・現代Ⅰ～Ⅶ				教科書を使い、予習復習を行う。	
	8	まとめ①(第4章 復習テスト①)				教科書、小テストを使い復習する事。	
	9	第5章 礼装の種類・・・和装の礼装				教科書を使い、予習復習を行う。	
	10	第5章 礼装の種類・・・洋装の礼装				教科書を使い、予習復習を行う。	
	11	まとめ②(第5章 復習テスト②)				教科書、小テストを使い復習する事。	
	12	まとめ③(第1章 総論)				まとめプリントを使い、予習・復習を行う	
	13	まとめ④(第4章。第5章 ファッション文化史)				まとめプリントを使い、予習・復習を行う	
	14	まとめ⑤(前期末試験対策)				対策プリントを使い、予習・復習を行う。	
	15	前期末試験、解答、解説				教科書を使い、予習復習を行う。	
評価方法	(1)授業の中で小テストを4回実施する。(2)宿題、レポートを数回実施する。(3)定期試験(筆記)を実施する。 宿題・レポートは提出期日の状況で判断する。以上を下記の観点。割合で評価する。成績基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○					70%
	小テスト	○					10%
	宿題・レポート	○					10%
	発表・作品					○	10%

課目名	美容技術理論 I				
課目名(英)	Beauty Technical theory				
単位数	2単位	時間数	60時間	担当者	渡邊正明・西依優・吉田由花子
実施年度	2021年度	実施時期	通年	担当者実務経験	サロンに美容師として勤務
対象学科・学年	美容科1年				
授業概要	美容師資格を取得し一人前の技術者になるため美容の基礎的な理論と技術を学ぶ事を目的とする。技術には裏付けとなる理論が必ずある。「なぜそうなのか」を明確に解き明かし、より良い美容の技術と心をお客様に提供できる美容師を目指す。				
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	○				
	○				
	○				
	○				
	○				
テキスト・教材 参考図書	美容技術理論 I 教科書 まとめプリント・過去問演習				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	序章 美容技術理論を学ぶにあたって			教科書に目を通し予習をしておく事。
	2	1章 美容用具・・・コーム、ブラシ、シザーズ			プリント、教科書を使い、予習・復習をしておく事。
	3	1章 美容用具・・・レザー、ピン類ヘアクリップ、ロッド、ローラー、ヘアアイロン、ドライヤー、スチーマー			プリント、教科書を使い、予習・復習をしておく事。
	4	まとめ①(序章・1章の復習・小テスト)			プリントを使い、予習・復習をしておく事。
	5	2章 シャンプーイング・・・シャンプー総論、			プリント、教科書を使い、予習・復習をしておく事。
	6	2章 シャンプーイング・・・サイドシャンプー、バックシャンプー			プリント、教科書を使い、予習・復習をしておく事。
	7	2章 シャンプーイング・・・リンス、コンディショナー、トリートメント			プリント、教科書を使い、予習・復習をしておく事。
	8	まとめ②(2章の復習・小テスト)・試験対策問題解答・解説			プリントを使い、予習・復習をしておく事。
	9	試験対策問題解答・解説			プリントを使い、予習・復習をしておく事。
	10	前期試験解答・解説			プリント、教科書を使い、予習・復習をしておく事。
	11	3章 ヘアデザイン・・・錯覚現象について			プリント、教科書を使い、予習・復習をしておく事。
	12	3章 ヘアデザイン・・・デザインの要素			プリント、教科書を使い、予習・復習をしておく事。
	13	4章 ヘアカット・・・ヘアカットとは			プリント、教科書を使い、予習・復習をしておく事。
	14	4章 ヘアカット・・・ヘアカットの基礎理論			プリント、教科書を使い、予習・復習をしておく事。
	15	4章 ヘアカット・・・レザーによるカット			プリント、教科書を使い、予習・復習をしておく事。
	16	まとめ①(3章、4章の復習・小テスト)			教科書を使い、予習・復習をしておく事。
	17	5章 パーマネントウェービング・・・パーマネントウェーブの歴史と現在			プリント、教科書を使い、予習・復習をしておく事。
	18	5章 パーマネントウェービング・・・パーマ剤の分類、注意事項			プリント、教科書を使い、予習・復習をしておく事。
	19	5章 パーマネントウェービング・・・ワインディングのバリエーション			プリント、教科書を使い、予習・復習をしておく事。
	20	6章 ヘアセッティング・・・ヘアセッティングとは・ヘアパーティング、カーリング			プリント、教科書を使い、予習・復習をしておく事。
	21	6章 ヘアセッティング・・・ローラーカーリング			プリント、教科書を使い、予習・復習をしておく事。
	22	6章 ヘアセッティング・・・アイロンセッティング			プリント、教科書を使い、予習・復習をしておく事。
	23	6章 ヘアセッティング・・・ウィッグとヘアピース			プリント、教科書を使い、予習・復習をしておく事。
	24	まとめ②(5章、6章の復習・小テスト)			プリントを使い、予習・復習をしておく事。

	25	7章 ヘアカラーリング・・・ヘアカラーリング概論	プリント、教科書を使い、予習・復習をしておく事。				
	26	7章 ヘアカラーリング・・・ヘアカラーリングの種類、特徴	プリント、教科書を使い、予習・復習をしておく事。				
	27	7章 ヘアカラーリング・・・染毛剤、染毛料、注意事項	プリント、教科書を使い、予習・復習をしておく事。				
	28	まとめ③(7章の復習・小テスト)試験対策問題解答・解説	プリントを使い、予習・復習をしておく事。				
	29	試験対策問題解答・解説	プリントを使い、予習・復習をしておく事。				
	30	後期末試験解答・解説	教科書2の予習をしておく事。				
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する (2)授業態度は、出席・提出物・授業中の居眠りの回数などで評価する 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験		○				80%
	小テスト	○					10%
	提出物		○		○		10%
履修上の注意	授業開始前に準備を整えておく。						

課目名	美容実習Ⅰ						
課目名(英)	Beauty Technique TrainingⅠ						
単位数	14単位		時間数	420時間		担当者	渡邊正明・西依優・吉田由花子
実施年度	2021年度		実施時期	通年		担当者実務経験	美容室にて美容師として勤務
対象学科・学年	美容科1年						
授業概要	国家試験合格に向けて、第二課題であるワインディングを中心に基礎技術を身に付ける。 また、衛生に関する知識、技術も同時に身に付けると共に、将来の美容業界で活躍できる基本的知識と技能も同時に習得する事も目的とする。						
授業形式	講義:		演習:		実習: ○	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
			○			練習を重ねるごとに、美容技術の課題を短時間で表現できる。	
		○				頭の丸みを理解し、能率的に作業を行うことができる。	
			○			ワインディング技術課題(オールパーパス・スタイル巻き)をそれぞれ全頭巻く事ができる。	
		○				衛生面に対しても意識を持ち作業を行うことができる。	
テキスト・教材 参考図書	日本理美容教育センター 美容技術理論 美容道具一式						
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示
	1～8	TONI&GUYカット レイヤーカット					前回までの復習
	9	教材配布。ワインディングの教材の説明、名称、用途からの説明。					教科書で事前学習
	10	教材配布。ワインディングの教材の説明、名称、用途からの説明。					教科書で事前学習
	11	国家試験第二課題 ワインディングスタイル巻き ブロッキング・第2ブロック					前回までの復習
	12	国家試験第二課題 ワインディングスタイル巻き ブロッキング・第2ブロック					前回までの復習
	13	国家試験第二課題 ワインディングスタイル巻き ブロッキング・第3. 4ブロック					前回までの復習
	14	国家試験第二課題 ワインディングスタイル巻き ブロッキング・第3. 4ブロック					前回までの復習
	15	国家試験第二課題 ワインディングスタイル巻き ブロッキング・センター					前回までの復習
	16	国家試験第二課題 ワインディングスタイル巻き ブロッキング・センター					前回までの復習
	17	国家試験第二課題 ワインディングスタイル巻き 第1ブロック					前回までの復習
	18	国家試験第二課題 ワインディングスタイル巻き バックサイド・サイド					前回までの復習
	19	国家試験第二課題 ワインディングスタイル巻き バックサイド・サイド					前回までの復習
	20	国家試験第二課題 ワインディングスタイル巻き バックサイド・サイド					前回までの復習
	21	国家試験第二課題 ワインディングスタイル巻き バックサイド・サイド					前回までの復習
	22～91	国家試験第二課題 ワインディングスタイル巻き 25分巻き					前回までの復習
	92～101	実務実習 掃除等のサロンワーク					前回までの復習
	101～194	国家試験第二課題 ワインディングスタイル巻き 20分巻き					前回までの復習
195～210	似合わせ作品制作 3人1組					デザインの収集と話し合いをしておくこと	
評価方法	実技試験による評価 レポート提出による評価 学内でのコンテストの実績による評価 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験			○			80%
	レポート・宿題提出				○		10%
	学内コンテスト実績			○			10%
履修上の注意	実技試験にて評価基準に達成していない場合、補講実施。						

課目名	ヘアテクニック【ヘアカットⅠ】					
課目名(英)	Hair Technique (Hair Cut)					
単位数	6単位	時間数	180時間中の80時間	担当者	渡邊正明・西依優・吉田由花子	
実施年度	2021年度	実施時期	通年	担当者実務経験	サロンに美容師として勤務	
対象学科・学年	美容科1年					
授業概要	TONI&GUYベーシックにおいて全てのカット技術の基礎となるワンレングス・グラデーション・レイヤーを理解習得しTONI&GUYフューチャーファンデーションで更にその理解と応用を深める。					
授業形式	講義:	演習:	実習: ○	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目 標
		○				カット技術に関する用語や姿勢を理解しTONI&GUY筆記試験において20問中15問以上の正解を得る事ができる。
			○			TONI&GUYベーシック2パターンを5段階評価3以上を取得しベーシック検定(レイヤー)での合格をする事ができる。
			○			TONI&GUYフューチャーファンデーションを理解しテーマ別のカットを表現する事ができる。
		○				頭の形を理解し形として仕上げる事ができる。
テキスト・教材 参考図書	TONI&GUYベーシックtext					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	ワンレングス ウィッグNO.1を用いてワンレングスカット			テキストにて事前学習	
	2	ワンレングス ウィッグNO.1を用いてワンレングスカット			前回までの復習	
	3	ワンレングス ウィッグNO.1を用いてワンレングスカット			前回までの復習	
	4	ワンレングス ウィッグNO.2、NO3を用いてワンレングスカット			前回までの復習	
	5	ワンレングス ウィッグNO.2、NO3を用いてワンレングスカット			前回までの復習	
	6	ワンレングス ウィッグNO.2、NO3を用いてワンレングスカット			前回までの復習	
	7	ワンレングス ウィッグNO.4、NO5を用いてワンレングスカット			前回までの復習	
	8	ワンレングス ウィッグNO.4、NO5を用いてワンレングスカット			前回までの復習	
	9	ワンレングス ウィッグNO.4、NO5を用いてワンレングスカット			前回までの復習	
	10	ワンレングス ウィッグNO.6、NO7を用いてワンレングスカット			前回までの復習	
	11	ワンレングス ウィッグNO.6、NO7を用いてワンレングスカット			前回までの復習	
	12	ワンレングス ウィッグNO.8を用いてワンレングスカット テスト			前回までの復習	
	13	グラデーション ウィッグNO.1を用いてグラデーションカット			前回までの復習	
	14	グラデーション ウィッグNO.1を用いてグラデーションカット			前回までの復習	
	15	グラデーション ウィッグNO.1を用いてグラデーションカット			前回までの復習	
	16	グラデーション ウィッグNO.2、NO3を用いてグラデーションカット			前回までの復習	
	17	グラデーション ウィッグNO.2、NO3を用いてグラデーションカット			前回までの復習	
	18	グラデーション ウィッグNO.2、NO3を用いてグラデーションカット			前回までの復習	
	19	グラデーション ウィッグNO.4、NO5を用いてグラデーションカット			前回までの復習	
	20	グラデーション ウィッグNO.4、NO5を用いてグラデーションカット			前回までの復習	
	21	グラデーション ウィッグNO.4、NO5を用いてグラデーションカット			前回までの復習	
	22	グラデーション ウィッグNO.6、NO7を用いてグラデーションカット			前回までの復習	
	23	グラデーション ウィッグNO.6、NO7を用いてグラデーションカット			前回までの復習	
24	グラデーション ウィッグNO.8を用いてグラデーション テスト			前回までの復習		

	25	レイヤー ウィッグNO.1を用いてレイヤーカット	前回までの復習				
	26	レイヤー ウィッグNO.1を用いてレイヤーカット	前回までの復習				
	27	レイヤー ウィッグNO.1を用いてレイヤーカット	前回までの復習				
	28	レイヤー ウィッグNO.2、NO3を用いてレイヤーカット	前回までの復習				
	29	レイヤー ウィッグNO.2、NO3を用いてレイヤーカット	前回までの復習				
	30	レイヤー ウィッグNO.2、NO3を用いてレイヤーカット	前回までの復習				
	31	TONI&GUYフューチャーファンデーション スクエアレイヤー 1体目	テキストにて事前学習				
	32	TONI&GUYフューチャーファンデーション スクエアレイヤー 1体目	前回までの復習				
	33	TONI&GUYフューチャーファンデーション スクエアレイヤー 1体目	前回までの復習				
	34	TONI&GUYフューチャーファンデーション スクエアレイヤー 1体目	前回までの復習				
	35	TONI&GUYフューチャーファンデーション スクエアレイヤー 2体目	前回までの復習				
	36	TONI&GUYフューチャーファンデーション スクエアレイヤー 2体目	前回までの復習				
	37	TONI&GUYフューチャーファンデーション スクエアレイヤー 2体目	前回までの復習				
	38	TONI&GUYフューチャーファンデーション スクエアレイヤー 2体目	前回までの復習				
	39	TONI&GUYフューチャーファンデーション スクエアレイヤー 3体目 テスト	前回までの復習				
40	TONI&GUYフューチャーファンデーション スクエアレイヤー 3体目 テスト	前回までの復習					
評価方法	ワンレングス・グラデーション・レイヤーを本校の認定講師による試験(追・再試験) TONI & GUY JAPAN講師によるレイヤーディプロマ認定試験 TONI&GUYフューチャーファンデーション スクエアレイヤー本校の認定講師による試験(追・再試験) 授業態度・意欲						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験			○			90%
	宿題・レポート				○		10%
履修上の注意	授業開始前に準備を整えておく。						

課目名	ヘアテクニック【シャンプー＆ブローⅠ】							
課目名(英)	shampoo / blow-drying							
単位数	6単位		時間数	180時間中の30時間		担当者	渡邊・西依・吉田・森・山之口・廣上	
実施年度	2021年度		実施時期	前期		担当者実務経験	美容師として勤務	
対象学科・学年	美容科1年							
授業概要	美容の業務の基本であるシャンプーと、応用技術であるブロードライの基礎を学ぶ。 道具の使い方・手の動かし方、スタンスを身に付けサロンレベルの技術の修得をする。							
授業形式	講義:		演習:		実習:	実技: ○	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標		
		○				基本の知識/道具説明、シャンプーの手順を覚えて、実際にシャンプーができる。		
			○			手順に沿ったサイドシャンプーの技術を説明することができる。		
			○			ウィッグに対してのストレートブローが出来る。		
			○			ロールブラシでのブローが出来る。		
テキスト・教材 参考図書	理論①教科書・シャンプー道具一式・ブロー道具一式							
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示	
	1	シャンプーの基礎を知ろう/理論①の教科書にて道具説明/シャンプー台の使い方、片付け方、シャンプー台の使い方/ファーストシャンプー					理論①の教科書にて予習・復習	
	2	シャンプーの基礎を知ろう/理論①の教科書にて道具説明/シャンプー台の使い方、片付け方、シャンプー台の使い方/ファーストシャンプー					手順の確認・復習	
	3	スキャルプマニピレーション/ブロー:ストレートブロー(デンマン)					手順の確認・復習	
	4	スキャルプマニピレーション/ブロー:ストレートブロー(デンマン)					手順の確認・復習	
	5	セカンドシャンプー(塗布量、声掛け、手の動き)					手順の確認・復習	
	6	セカンドシャンプー(塗布量、声掛け、手の動き)					手順の確認・復習	
	7	スキャルプマニピレーション/ブロー:内巻(ロールブラシ)					手順の確認・復習	
	8	スキャルプマニピレーション/ブロー:内巻(ロールブラシ)					手順の確認・復習	
	9	セカンドシャンプー(塗布量、声掛け、手の動き)					手順の確認・復習	
	10	セカンドシャンプー(塗布量、声掛け、手の動き)					手順の確認・復習	
	11	スキャルプマニピレーション/ブロー:内巻(ロールブラシ)					手順の確認・復習	
	12	スキャルプマニピレーション/ブロー:内巻(ロールブラシ)					手順の確認・復習	
	13	セカンドシャンプー(塗布量、声掛け、手の動き)実技テスト					手順の確認・復習	
	14	ブロー:内巻 実技テスト					手順の確認・復習	
	15	スキャルプマニピレーション 筆記テスト					手順の確認・復習	
評価方法	(1)実技テストを実施する。(2)筆記テストを実施する 以上を下記の観点で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。							
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合	
	実技テスト(シャンプー)		○	○			40%	
	実技テスト(ブロー)		○	○			30%	
	スキャルプマニピレーション		○	○			30%	

履修上の注意	出席が12回以上の満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。(補習を完了したものを除く)					

課目名	ヘアテクニック 【美容業界研究】						
課目名(英)	HAIR TECHNIQUES						
単位数	6単位		時間数	180時間中の30時間		担当者	渡邊・西依・吉田・森・山之口・廣上
実施年度	2021年度		実施時期	通年		担当者実務経験	サロンに美容師として勤務
対象学科・学年	美容科1年						
授業概要	就職活動を控え就職を意識すると共に、美容業界の知識を深め、内定獲得する為の社会的スキルを身に着ける。						
授業形式	講義： ○		演習： △	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
		○				学校求人を中心に企業研究をする事ができる。	
		○				学内での就職支援の機能を使いこなすことができる。	
	○					面接試験の傾向と対策を理解し、しっかりとした言動で模擬面接を行う事ができる。	
		○				作文、履歴書の記入方法を理解して、履歴書制作ができる。	
テキスト・教材 参考図書	就職ガイドブック・履歴書						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	学校求人を中心にリサーチ。就職を意識させる。					
	2	企業の選び方のチェックポイントについて					
	3	就職支援の機能を使いこなす					
	4	美容業界をサロンスタッフの方を通して知る。(IMSセミナー)					
	5	美容業界をサロンスタッフの方を通して知る。(IMSセミナー)					
	6	美容業界をサロンスタッフの方を通して知る。(IMSセミナー)					
	7	美容業界をサロンスタッフの方を通して知る。(IMSセミナー)					
	8	実務実習サロンの検討					
	9	実務実習の内容と注意事項					
	10	就職試験、求職票受付面接の内容を確認する。					
	11	求職票の作成					
	12	求職票受付面接の練習					
	13	就職オリエンテーション(受験までの流れ)					
	14	就職オリエンテーション(履歴書の書き方)					
	15	就職オリエンテーション(面接について)					
評価方法	(1)授業の中でグループ発表を実施する。(2)宿題として感想文・レポートを提出を課す場合がある。 以上を下記の観点・割合で単位認定をする。 成績評価基準は、R判定とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	レポート提出		○		○		100%

課目名	ヘアテクニック【ヘアセット&着付け】										
課目名(英)											
単位数	6単位		時間数		180時間中30時間		担当者		吉田理恵子		
実施年度	2021年度		実施時期		前期		担当者実務経験		平成24年着付け講師及び 教室開校資格取得		
対象学科・学年	美容科 1年生										
授業概要	黒留袖着付けに関する、基礎知識と基礎技術を習得する ヘアアレンジに関する基礎知識と基礎技術を習得する										
授業形式	講義:			演習:		実習: ○		実技: △		※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標					
	○					着付けに必要な道具の名称、使い方の説明ができる					
			○			着付けの基礎技術を実施できるようになる					
			○			基礎技術の組み合わせで、黒留袖を着付けることができる					
	○					ヘアアレンジに必要な道具の名称、使い方の説明ができる					
			○			ヘアアレンジの基礎技術を実施できるようになる					
			○			基礎技術の組み合わせで、ヘアスタイルを作ることができる					
テキスト・教材 参考図書	日本理美容教育センター 美容技術理論Ⅱ										
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示				
	1	道具の名称・着付準備 - 着物・長襦袢のたたみ方、着物・長襦袢の片付け方、補正の仕方、長襦袢の着付け					教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと				
	2	黒留袖着付け - 黒留袖着付け					前回の復習をしておくこと				
	3	黒留袖着付け - 帯の結び方					前回の復習をしておくこと				
	4	黒留袖着付け - 復習					実技テストの連絡をしておくこと				
	5	実技テスト(黒留袖着付け)					実技テスト				
	6	道具の説明・使い方 - ビン・ブラシ類の説明、ホットカーラーの巻き方、一束結び、ビンの止め方									
	7	道具の説明・使い方 - フォワードスパイラルカール、ローブ編み、編み込み(表・裏)					前回の復習をしておくこと				
	8	簡単ヘアアレンジ - 復習と応用					前回の復習をしておくこと				
	9	簡単ヘアアレンジ - 復習と応用					実技テストの連絡をしておくこと				
	10	実技テスト					実技テスト				
	11										
	12										
	13										
	14										
	15										
評価方法	(1)定期テスト(実技・筆記)を各50点満点で実施し、下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。										
		言語情報		知的技能		運動技能		態度・意欲		その他	評価割合
	実技テスト						◎		◎		50%
	小テスト		◎						◎		50%

履修上の注意							

課目名	ヘアテクニック【起業実務】										
課目名(英)											
単位数	6単位		時間数		180時間中 10時間		担当者		島田英也		
実施年度	2021		実施時期		前期		担当者実務経験		麻生情報ビジネス専門学校にて教鞭をとる		
対象学科・学年	美容科1年次										
授業概要	「起業実務」起業に至るまでを理解して経営のアシスタントが出来るようになる。 将来起業を行ないたいと漠然とした目的はあるが、そこに至るまでのプロセスやノウハウが無い為に夢のまままで終わったり、挫折、離職というような状況が発生している為、起業に至るまでに必要なプロセスやノウハウを知る事で目標までが明確になり、就職後に活躍できる人材になる。										
授業形式	講義：○		演習：△		実習：		実技：		※ 主たる方法：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目 標					
	○	○				事業計画書の骨子を説明できる。					
	○	○				店舗立地の調査方法の概略を説明でき、出店可能性を計算できる。					
	○	○				損益計算書、貸借対照表、損益分岐点の原理を説明できる。					
	○	○				創業資金の集め方を説明できる。					
テキスト・教材 参考図書											
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示				
	1	起業の意義、自分の事業計画書を考える					どんなサロンを出したいか考えておくこと				
	2	店舗立地調査演習①(商圈知識、出店可能性調査、競合調査)									
	3	店舗立地調査演習②(商圈知識、出店可能性調査、競合調査)									
	4	店舗立地調査振り返り、経営数字の見方(損益分岐点分析)					利益が出る仕組みを復習しておく				
	5	まとめテスト									
	6										
	7										
	8										
	9										
	10										
	11										
	12										
	13										
	14										
	15										
評価方法	(1)まとめテスト(筆記)を最後の授業で行う。 (2)授業態度は、出席率で評価する 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする										
		言語情報		知的技能		運動技能		態度・意欲		その他	
	まとめテスト		◎		○						
	授業態度						◎				

履修上の注意	特段の事情を除いて、授業は休まないでください。授業中の私語は、厳禁です。復習は必須です。					

課目名	ビューティースキル【メイクアップ】						
課目名(英)	Makeup						
単位数	5単位		時間数	60／150		担当者	重松愛子
実施年度	2021年度		実施時期	前期		担当者実務経験	雑誌、広告関係、ファッションショー バックステージ現場経験
対象学科・学年	美容科1年						
授業概要	サロンワークの中で美容のプロとして、お客様に不快感を与えないように机上が整えられ、常に清潔な道具を並べる事ができ、お客様の要望にこたえる為に必要な基礎的技術、道具の名称、皮膚骨格の知識を学ぶ。						
授業形式	講義：		演習：△	実習：	実技：○	※ 主たる方法：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
			○			机上が清潔で、綺麗に整えることができる。	
			○			基礎的な技術を実施することができる。	
			○			モデルに不快感を与えず、技術ができる。	
			○			セッティングから、フルメイクまでが実施できる。	
テキスト・教材 参考図書	シュウウエムラメイクアップ技術検定試験マニュアル						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1・2	教材配布				ネームペン、シール等持参する	
	3・4	メイクアップとはーシュウウエムラについて				シュウウエムラテキストを読んでおく	
	5・6	スキンケア1ーモデルの扱い方				シュウウエムラテキストを読んでおく	
	7・8	スキンケア2ーポイントクレンジング				シュウウエムラテキストを読んでおく	
	9・10	スキンケア3ーローション、クリームトーン				シュウウエムラテキストを読んでおく	
	11・12	スキンケア4ースキンケア復習				シュウウエムラテキストを読んでおく	
	13・14	メイクアップ1ーメイクアップテクニック				シュウウエムラテキストを読んでおく	
	15・16	メイクアップ2ーベースメイク				シュウウエムラテキストを読んでおく	
	17・18	メイクアップ3ーフェイスパウダー				シュウウエムラテキストを読んでおく	
	19・20	メイクアップ4ーハイライト、ローライト、シェーディング				シュウウエムラテキストを読んでおく	
	21・22	メイクアップ5ーアイメイク				シュウウエムラテキストを読んでおく	
	23・24	メイクアップ6ーアイブロー				シュウウエムラテキストを読んでおく	
	25・26	メイクアップ7ーチーク				シュウウエムラテキストを読んでおく	
	27・28	メイクアップ8ーフルメイク復習				シュウウエムラテキストを読んでおく	
	29・30	実技テスト				復習をしておく	
評価方法	(1)授業の中で実施した実技作品を確認する。(2)テキストが記入されているかを確認する。 (3)実技テストを実施し評価する。※シュウウエムラ修了証を取得することができる。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	実技テスト			◎			70%
	作品・テキスト			○			30%

履修上の注意

特段の事情を除いて、授業は休まないでください。授業中の私語は、厳禁です。復習は必須です。

課目名	ビューティースキル【ネイル】						
課目名(英)	Beauty skill(nail)						
単位数	2単位		時間数	60時間		担当者	林 理沙
実施年度	2021年度		実施時期	通年		担当者実務経験	ネイルサロンにてネイリストとして勤務
対象学科・学年	美容科1年						
授業概要	技術者としてお客様に施術する上で、技術に合わせ専門的な知識と提案力が重要である。この授業ではネイルケアとネイル知識、衛生管理、ネイル検定3級取得を目指す。サロンワークに必要な知識と技術を習得し、お客様に信頼され常に満足して頂ける知識習得を目指す。						
授業形式	講義：		演習：		実習：○	実技：○	※ 主たる方法：○ その他：△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				JNAテクニカルベーシックに沿った爪の構造名称を覚え、爪の病気消毒法について説明することができる。	
	○	○	○			用具用材の名称と使用目的、衛生的なテーブルセッティングを学び、実践することができる。	
		○	○			爪の名称、構造を理解し正しいエメリーボードの使い方によるファイリング技術で爪の形を整える。	
		○	○			爪の構造を理解した上で安全なプッシャー、ニッパーハンドリング技術でお手入れすることができる。	
			○			赤のポリッシュをキューティクルの形に沿って美しくライン取り、表面をムラなく仕上げることができる。	
テキスト・教材 参考図書	JNAテクニカルシステムベーシック						
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示
	1	シラバス提示、教材説明、ラベル貼り、テーブルセッティング、ファイル面取り、スティック削り					スティック削りが時間内に終わらない場合は宿題
	2	カラーリングデモ、実践					特になし
	3	ファイリングデモ、実践 カラーリング復習					特になし
	4	理論(歴史、爪の構造、皮膚科学、生理解剖学)					教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと
	5	理論小テスト、ファイリング、カラーリング復習					特になし
	6	キューティクルケアデモ、実践相モデル カラーリング					特になし
	7	カラーリング工程テスト					特になし
	8	理論(爪の病気、消毒法、色彩理論、プロフェッショナリズム)					教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと
	9	理論小テスト、アート・テーブルセッティングと衛生管理の再確認					特になし
	10	アート、テーブルセッティングと衛生管理の再確認					・3級アートのバリエーションを各自調べておくこと ・検定持参物として、「魔法瓶」「水筒」を準備し始め
	11	過去問題解答解説					特になし
	12	カラーリング実技テスト、検定の工程を確認、実践					特になし
	13	70分タイムトライアル					特になし
	14	70分タイムトライアル					特になし
	15	70分タイムトライアル					特になし
評価方法	(1)授業の中で小テストを実施する。(2)宿題・レポートを実施する。(3)定期試験(実技)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○		○			50%
	小テスト	○	○	○			40%
	宿題・レポート			○			10%
	発表・作品						

履修上の注意	授業では自爪に戻しておくこと 出席が4/5に満たない場合は定期試験(実技)の受験資格を与えない					

課目名	ビューティースキル(接遇)						
課目名(英)	Beauty skill (manner)						
単位数	1単位	時間数	30時間	担当者	林 理沙		
実施年度	2021年度	実施時期	通年	担当者実務経験	ネイルサロンでネイリストとして勤務		
対象学科・学年	美容科1年						
授業概要	ビジネススキル、カウンセリングスキルをはじめ、ビューティーコーディネーターの役割と生産性を高めるフロアマネジメントを理解し、実践を中心に身に付ける。ビューティーコーディネーターが単なるレセプション専門職ではなく美容師こそが学び、サロンワークへと活かすことができるようお客様のトータルビューティーのベースとなる知識と理論を身に付けビューティーコーディネーター3級取得を目指す。						
授業形式	講義:	○	演習:	実習:	△	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					接遇とは何かを説明することができる。	
		○	○			社会人としての基本的な振る舞いができる。	
	○					ヒヤリ・ハットの情報を伝え、対策を考えることができる。	
		○	○	○		ホスピタリティ(常に相手に思いやりの心)を持ち、接することができる。	
	○					施術に必要な器具・用具類の名称を説明することができる。	
テキスト・教材 参考図書	JBCAビューティーコーディネーター3級						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	サロンにおけるビジネスキャリア					
	2	ホスピタリティを発揮するビジネスコミュニケーション					
	3	サロン内のコミュニケーション-交流分析理論					
	4	サロン内のコミュニケーション-印象の良い聴き方と話し方					
	5	サロン内のコミュニケーション-敬語、電話応対					
	6	就業中の基本マナー-第一印象、姿勢、お辞儀、受け渡し					
	7	就業中の基本マナー-ハウレンソウ、会議マナー					
	8	小テスト(敬語、電話応対)					
	9	ビューティーコーディネーターとは・・・何か					
	10	ビューティーコーディネーターとは・・・店舗クリンネス					
	11	受付接客時の言葉遣いケース例					
	12	アフターカウンセリングお手本とお見送り					
	13	トレンドを理解するには・・・					
	14	おしゃれの基本					
	15	定期試験(筆記)解答解説					
評価方法	(1)授業の中で小テストを実施する。(2)定期試験を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	○				70%
	小テスト	○	○	○			30%

課目名	デザイン【パーソナルカラー】									
課目名(英)	Design(Color Cordinate)									
単位数	2単位		時間数	30時間/90時間		担当者	荒木 成美 林 理沙 渡邊 正明			
実施年度	2021年度		実施時期	通年		担当者実務経験	美容室にて美容師として勤務			
対象学科・学年	美容科 1年次									
授業概要	人を美しくするプロフェッショナルとして「美を見極める力」とその基本となる知識と技能を身に着け、明確な理由に基づく色選びが出来るようになる。パーソナルカラーの知識として色の効果や配色法を学ぶことで、色の選択について豊富なボキャブラリーを用いて提案できる。パーソナルカラー検定モジュール1合格を目指す。									
授業形式	講義:		演習:	○	実習:		実技:		※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標				
	○	○				パーソナルカラーの基礎を理解し、色の見えるしくみについて説明できる。				
	○	○				色の四属性について理解し、属性にのっとって色を見分け説明できる。				
	○	○				各シーズンの表すイメージや特徴を理解し、各シーズンの色を見分けることができる。				
	○					パーソナルカラー検定モジュール1(初級)を取得することができる。				
テキスト・教材 参考図書	パーソナルカラリスト検定モジュール1公式テキスト、ワークブック パーソナルカラー配色カード、新配色カード194a、配布資料									
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示			
	1	パーソナルカラーについて(導入)、検定概要 PCCS色相環①・色の名前・暖色・寒色・中間色					教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと			
	2	PCCS色相環② ・色相環の作成・純色					実施内容の復習			
	3	色のしくみ① ・色相・明度					実施内容の復習			
	4	色のしくみ② ・彩度・清濁					実施内容の復習			
	5	色を見るための条件① ・光					実施内容の復習			
	6	色を見るための条件② ・物体・目					実施内容の復習			
	7	色のものさし① ・トーン表					実施内容の復習			
	8	色のものさし② ・トーン表					実施内容の復習			
	9	色彩の心理効果					実施内容の復習			
	10	配色法 基本の配色法・配色技法					実施内容の復習			
	11	フォーシーズン分類① ・「春」「夏」それぞれの属性と効果					実施内容の復習			
	12	フォーシーズン分類② ・「秋」「冬」それぞれの属性と効果					実施内容の復習			
	13	パーソナルカラー実践ー診断方法 ・パーソナルカラーの見分け方 ・ペアになりお互いを診断					実施内容の復習			
	14	総まとめテスト(検定模擬試験)					講座全体の復習をしておくこと			
	15	総まとめテスト解答解説、検定対策授業					講座全体の復習をしておくこと			
評価方法	(1)講座終了前(検定前)に総まとめテストを実施する (2)確認の小テスト (3)カラーカード等を用いた課題の提出 (4)実習技能 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。									
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合			
	総まとめテスト	◎					80%			
	小テスト	○					10%			
	課題(ワークブック)	○					10%			

履修上の注意

出席回数が授業回数の2／3に満たない場合は、単位を与えない

課目名	デザイン(ファッション)									
課目名(英)	Fashioncodineito									
単位数	1		時間数	30時間中15時間		担当者	タナベアキコ			
実施年度	2021年度		実施時期	前期		担当者実務経験	ファッション講師歴30年OFFICE経営			
対象学科・学年	美容科1年次									
授業概要	トータル美容に必要なファッションの具体的な実践を(コンテストやABC祭)目指し、計画的で魅力的な発想、企画、演出方法を考え出すことができるように指導するとともに、豊かな表現力を身につけさせる									
授業形式	講義:		演習:		実習:		実技:		※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標				
	㊦	㊦				ファッションを組み立てる上での重要な要素を応用できる				
		㊦				ファッションカラーコーディネートの基本を説明することができる				
		㊦				ファッションイメージの分類と的確なポイント把握ができる				
		㊦				ファッション専門用語が説明出来、使いこなせる				
						オケイジョンズ(TPO)を踏まえて、提案できる				
テキスト・教材 参考図書	ファッション雑誌 mode e mode									
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示			
	1	デザイン造形のセオリー					ファッション雑誌に目を等しておく			
	2	ファッションカラーコーディネートテクニック					ファッション雑誌に目を通しておく			
	3	ファッションイメージ(1)イメージの分類と説明								
	4	ファッションイメージ(2)イメージファイル作成								
	5	デザインの発想と企画デザイン画								
	6	ファッションの歴史(洋服の成り立ちと時代別の流行の特徴)					ライブラリーのファッションの歴史に目を通す			
	7	小物やディティルの名称					ファッション雑誌に目を通しておく			
	8	オケイジョンズ(TPO)					予習プリントを見る			
	9									
	10									
	11									
	12									
	13									
	14									
	15									
評価方法	(1)授業の中で作品提出をおこなう。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。									
		言語情報		知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合		
	発表・作品	○		○	○	○	○	100%		

履修上の注意	多くのファッション雑誌や美容雑誌、映画、アニメ、美術鑑賞、広告、写真集、フラワーアレンジ、などを見て、感性を高める努力をする						

課目名	GCB I						
課目名(英)	GLOBAL CITIZEN basic1						
単位数	1単位		時間数	16時間		担当者	森建太 山之口菜摘 廣上東光
実施年度	2021年度		実施時期	前期		担当者実務経験	サロンに美容師として勤務
対象学科・学年	美容科1年						
授業概要	組織の中で生きて生きていくうえで重要なマナーと協力(協働)について学び、感謝心と思いやりを身に付けて社会に貢献できる人材を目指す。						
授業形式	講義： ○		演習：	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○				グローバルシティズンという意味を理解し、説明する事ができる。	
				○		「協働」の意味を知り、行動ができるようになる。	
				○		マナーの本質を知り、よりよい人間関係の構築が出来るようになる。	
				○		「感謝と思いやり」を表現できるようになる。	
テキスト・教材 参考図書	GCB1テキストブック						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	第1講座:グローバルシティズンを目指そう /グローバルシティズンとは何かを考える。				グループ討論・発表に対する準備。	
	2	第2講座:「協働」の態度を持った学生生活に向けて～マナーの重要性 /グループ討論・発表				グループ討論・発表に対する準備。	
	3	第3講座:よりよい人間関係の構築に/社会生活におけるマナーの重要先人に学ぶ				復習をしておく	
	4	第3講座:よりよい人間関係の構築に/江戸しぐさ・先人から学ぶマナー				感想文シートの作成指示	
	5	第4講座:マナーの本質Ⅰ/相手に敬意を表する				復習をしておく	
	6	第5講座:マナーの本質Ⅱ/相手に敬意を表する(思いを伝える力、真摯な姿勢、素直な態度、誠実な傾聴) 自分を理解する(TA交流分析)				感想文シートの作成指示	
	7	第6講座:グローバルシティズンとしての日常/7つの習慣より(Win-Winを考える、理解し理解される、相乗効果を発揮する)				感想文シートの作成指示	
	8	第7・第8講座:「感謝と思いやり」を振り返る/[感謝と思いやりを振り返る]				復習をしておく	
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
	評価方法	(1)授業の中で発表を実施する。(2)宿題として感想文・レポートの提出を課す。 以上を下記の観点・割合で単位認定をする。 成績評価基準は、R判定とする。					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
宿題・レポート					○		10%
発表・作品		○	○		○		90%

